

平成 25 年 1 月 15 日

NEXCO 東日本

代表取締役社長 広瀬 博 殿

横浜環状道路（圏央道）対策連絡協議会（連協）

会 長 比留間 哲生

早速ながら平成 24 年度一般国道 468 号（横浜環状南線、略称南線）の再評価に関する事業評価監視委員会の審議とその結論に対する地元関係住民の意見と批判をまとめた文書を同封送付しますので、内容に目を通して南線の事業の問題点について十分認識された上で適切に対処されることを強く求めます。

とくに、今回の委員会が出した付帯意見は法律の趣旨に反して科学的で厳正な審議のないまま一方的に南線事業の継続推進を決定したもので私達としては到底容認することはできませんし、この付帯意見を錦の御旗として貴社の現場が住民を無視して強引に事を進める恐れがあります。もしそうなると事態は益々混乱するに違いなく、そのことを十分に考慮の上今後事を進めていくことを要望し、且つ強く求めます。

以上